

2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月30日

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社

上場取引所 名

コード番号 8071 URL <https://www.tokai-ele.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 慎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部本部長 (氏名) 谷 徹雄

TEL 052-261-3211

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	41,471	10.9	626	51.6	707	47.1	387	54.2
2024年3月期第3四半期	46,543	3.3	1,294	3.8	1,338	2.2	845	0.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 716百万円 (42.0%) 2024年3月期第3四半期 1,234百万円 (14.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	183.47	178.97
2024年3月期第3四半期	401.00	392.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	33,746	17,506	51.5
2024年3月期	30,798	17,016	54.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 17,393百万円 2024年3月期 16,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		57.00		57.00	114.00
2025年3月期		57.00			
2025年3月期(予想)				57.00	114.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	4.7	700	56.4	720	56.6	430	12.6	203.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	2,360,263 株	2024年3月期	2,360,263 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	248,468 株	2024年3月期	248,628 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	2,111,843 株	2024年3月期3Q	2,109,460 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で世界経済においては、継続的な物価上昇による影響に加え、不動産市場停滞の継続に伴う中国経済の低迷や米国の今後の政策動向などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況となっています。

このような経済環境のもと、当社グループは2023年度からの3カ年計画である中期経営計画「Move for Future 2025：MF25」の2年目となり、MF25のテーマである「1. 実行力！ミライの価値づくりに、さあ動き出そう～想いや経験を共有し、みんなで未来へ進もう～」、「2. 安心・安全な社会、緑豊かな環境を創ろう～エレクトロニクスのチカラでより良い社会を創ろう～」の方針に沿って、益々エレクトロニクス化、グローバル化が進む事業環境の中、自動車、医療、環境・エネルギー、I o T・F A、ソフトウェアなどの各市場分野において、お客様視点に立ったソリューション提案を進めています。

その主な取り組みとして、橋梁など社会インフラの老朽化や故障のような社会課題に対して、I o Tを活用したシステム提案により未然防止などの解決に取り組んでいます。また、当社の海外拠点のネットワークを活かし、欧州のセンサーメーカーと協力関係を強化して最新技術を利用したセンサーを日本、中国、米国、東南アジアなど様々な地域のお客様に提案してビジネス拡大に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間の主な市場分野別の業績については、東南アジア圏で半導体デバイスの新規採用があり販売が増加したことなどから前年同期を上回りましたが、国内は中国市場での自動車販売減少の影響により半導体デバイスの販売が減少したことなどから、自動車分野全体では前年同期を下回りました。また、F A・工作機械分野においては、中華圏で一部のお客様で特需もあり電子デバイスの販売が増加しましたが、国内は自動車関連及び半導体関連での設備投資が低迷したことなどから、F A・工作機械分野全体では前年同期を下回りました。情報通信分野においては、国内は電子デバイスの販売が堅調に推移したことに加え、海外は東南アジア圏を中心にO A機器向け電子デバイスなどの販売が増加したことなどから前年同期を上回る結果となりました。

市場分野別の売上につきましては次のとおりであります。

(単位：千円)

市場分野別	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	構成比(%)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	構成比(%)	前年同期比 (%)
自動車	32,467,529	69.8	29,631,019	71.4	△8.7
F A・ 工作機械	6,668,677	14.4	4,222,649	10.2	△36.7
情報通信	3,324,318	7.1	4,296,894	10.4	29.3
環境	981,787	2.1	668,714	1.6	△31.9
医療	710,873	1.5	702,002	1.7	△1.2
その他	2,390,448	5.1	1,949,756	4.7	△18.4
合計	46,543,634	100.0	41,471,036	100.0	△10.9

上記の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は414億7千1百万円（前年同期比10.9%減）となり、利益面においては営業利益6億2千6百万円（前年同期比51.6%減）、経常利益7億7百万円（前年同期比47.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億8千7百万円（前年同期比54.2%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

○関東・甲信越カンパニー

医療分野においては、医療機器用電子デバイスの販売は増加しました。一方で自動車分野においては、電気自動車の低迷により電子デバイスや高機能材料などの販売が減少しました。また、F A・工作機械分野においても、中国向け需要の低迷により電子デバイスなどの販売が減少したことなどから、売上高は29億9千3百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

○中部・関西第1カンパニー

情報通信分野においては、お客様の生産が堅調に推移し電子デバイスの販売が増加しました。一方でF A・工作機械分野においては、自動車関連及び半導体関連向けの設備投資が低迷し電子デバイスの販売が減少したことなどから、売上高は46億4千9百万円（前年同期比36.4%減）となりました。

○中部・関西第2カンパニー

自動車分野において、省エネルギーを目的とした電子デバイスの販売は増加しましたが、中国市場での自動車の販売不振などの影響により半導体デバイスの販売が減少したことなどから、売上高は46億8千8百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

○中部・関西第3カンパニー

自動車分野において、中国市場での自動車の販売不振や自動車メーカーの生産調整による影響により、マイコンなどの半導体デバイスの販売が減少したことなどから、売上高は158億4千5百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

○オーバーシーズ・ソリューションカンパニー

自動車分野においては、中国市場での自動車の販売不振の影響が継続しており半導体デバイスの販売が減少しました。一方、情報通信分野においては、東南アジア圏を中心にお客様の生産が回復し、データセンター向けやOA機器向けを中心に電子デバイスなどの販売が増加しました。F A・工作機械分野においても、一部のお客様での特需があり電子デバイスの販売が増加しました。また、為替相場についても前年同期と比べ円安となったことから、売上高は117億6千3百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

○システム・ソリューションカンパニー

環境分野においては、公共事業関連で採算性を重視し工事案件の選別を実施したことにより新規受注は減少しました。また、F A・工作機械分野においても、半導体設備関連の需要が低迷したことによりアセンブリ製品等の販売が減少したことなどから、売上高は15億2千9百万円（前年同期比28.3%減）となりました。

セグメント別の売上に つきましては次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	構成比(%)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	構成比(%)	前年同期比 (%)
関東・甲信越 カンパニー	3,240,419	7.0	2,993,619	7.2	△7.6
中部・関西 第1カンパニー	7,307,553	15.7	4,649,105	11.2	△36.4
中部・関西 第2カンパニー	5,219,677	11.2	4,688,924	11.3	△10.2
中部・関西 第3カンパニー	17,327,745	37.2	15,845,995	38.2	△8.6
オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー	11,314,363	24.3	11,763,590	28.4	4.0
システム・ ソリューション カンパニー	2,133,874	4.6	1,529,801	3.7	△28.3
合計	46,543,634	100.0	41,471,036	100.0	△10.9

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は337億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億4千8百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が5億7千9百万円、売上債権等が12億8千1百万円など減少しましたが、棚卸資産が39億4千8百万円、未収入金などの増加により流動資産のその他が5億8千5百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は162億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ24億5千8百万円の増加となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が38億円、未払法人税等が2億7千4百万円など減少しましたが、仕入債務が5億1千2百万円、短期借入金が31億5千万円、長期借入金が30億円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は175億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億8千9百万円の増加となりました。主な要因は、配当金の支払い2億4千万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億8千7百万円の計上となったことから、利益剰余金が1億4千6百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定が円安の影響により2億4千1百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月28日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,268,261	3,688,792
受取手形、売掛金及び契約資産	8,221,531	7,914,717
電子記録債権	2,663,408	1,688,954
棚卸資産	10,068,107	14,016,214
その他	260,196	845,442
流動資産合計	25,481,506	28,154,121
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,902,985	1,902,985
その他(純額)	617,297	626,844
有形固定資産合計	2,520,282	2,529,829
無形固定資産		
投資その他の資産	57,286	50,604
投資有価証券	1,713,311	1,849,792
その他	1,025,790	1,162,419
投資その他の資産合計	2,739,102	3,012,211
固定資産合計	5,316,671	5,592,646
資産合計	30,798,177	33,746,767
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,551,716	6,694,866
電子記録債務	2,157,251	1,526,386
短期借入金	—	3,150,000
1年内返済予定の長期借入金	3,800,000	—
未払法人税等	329,846	55,024
賞与引当金	237,459	150,936
役員賞与引当金	124,895	93,624
その他	858,023	638,032
流動負債合計	13,059,193	12,308,870
固定負債		
長期借入金	—	3,000,000
退職給付に係る負債	399,157	413,968
その他	323,265	517,689
固定負債合計	722,423	3,931,657
負債合計	13,781,617	16,240,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,075,396	3,075,396
資本剰余金	2,511,009	2,511,009
利益剰余金	10,587,438	10,734,221
自己株式	△517,457	△517,337
株主資本合計	15,656,386	15,803,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	853,729	940,698
土地再評価差額金	△662,775	△662,775
為替換算調整勘定	1,070,279	1,312,074
その他の包括利益累計額合計	1,261,233	1,589,997
新株予約権	98,940	112,952
純資産合計	17,016,559	17,506,239
負債純資産合計	30,798,177	33,746,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	46,543,634	41,471,036
売上原価	40,941,016	36,745,184
売上総利益	5,602,618	4,725,852
販売費及び一般管理費	4,308,092	4,099,816
営業利益	1,294,525	626,035
営業外収益		
受取利息	6,194	33,957
受取配当金	35,029	41,026
仕入割引	6,003	3,051
為替差益	3,207	27,514
不動産賃貸料	22,733	22,731
その他	10,578	11,217
営業外収益合計	83,747	139,499
営業外費用		
支払利息	24,069	34,641
売上債権売却損	6,481	14,566
不動産賃貸原価	8,877	8,544
その他	10	5
営業外費用合計	39,440	57,758
経常利益	1,338,832	707,777
税金等調整前四半期純利益	1,338,832	707,777
法人税、住民税及び事業税	415,098	152,476
法人税等調整額	77,837	167,839
法人税等合計	492,936	320,316
四半期純利益	845,896	387,461
親会社株主に帰属する四半期純利益	845,896	387,461

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	845,896	387,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142,899	86,968
為替換算調整勘定	245,552	241,795
その他の包括利益合計	388,452	328,763
四半期包括利益	1,234,348	716,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,234,348	716,225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						計
	関東・甲信越 カンパニー	中部・関西第 1カンパニー	中部・関西第 2カンパニー	中部・関西第 3カンパニー	オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー	システム・ ソリューション カンパニー	
売上高							
外部顧客への売上高	3,240,419	7,307,553	5,219,677	17,327,745	11,314,363	2,133,874	46,543,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	859,317	393,159	23,633	178,818	1,478,310	14,989	2,948,227
計	4,099,736	7,700,712	5,243,310	17,506,563	12,792,673	2,148,864	49,491,861
セグメント利益	214,660	411,951	67,067	799,675	126,690	160,914	1,780,960

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,780,960
セグメント間取引消去	74,373
全社費用(注)	△560,808
四半期連結損益計算書の営業利益	1,294,525

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						計
	関東・甲信越 カンパニー	中部・関西第 1カンパニー	中部・関西第 2カンパニー	中部・関西第 3カンパニー	オーバーシーズ・ ソリューション カンパニー	システム・ ソリューション カンパニー	
売上高							
外部顧客への売上高	2,993,619	4,649,105	4,688,924	15,845,995	11,763,590	1,529,801	41,471,036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	771,858	504,715	18,021	436,955	1,783,375	32,993	3,547,919
計	3,765,477	5,153,820	4,706,945	16,282,951	13,546,965	1,562,794	45,018,956
セグメント利益	155,195	146,673	109,846	508,043	123,693	117,022	1,160,475

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,160,475
セグメント間取引消去	23,225
全社費用(注)	△557,665
四半期連結損益計算書の営業利益	626,035

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	148,595千円	144,839千円
のれんの償却額	144,990千円	一千円